

新垣の山芋勝負 すーぶ



新垣に根付いた新たな行事

春に植付けされ、区の参加者に大事に育てられた新垣の山芋は12月に収穫し「山芋すーぶ(勝負)」でお披露目されます。手作業ならではの個性あふれる山芋の重量を競います。地域を盛り上げたいと2007年から始めたこのイベントは2019年13回目を迎え、地域住民はもちろん地域内外から訪れる方々にも喜ばれています。会場ではお母さんたちが作る山芋料理も楽しめますよ！
毎年12月吉日(日曜日)新垣区民館にて開催。

アクセス情報



車 那覇空港から国道329号線を北上(所要時間約35分)▶奥間交差点(中城村)を左折県道35号線へ▶新垣区民館(所要時間約4分)

高速道路 北中城ICで降りる(所要時間約30分)
▶新垣区民館(所要時間約8分)

護佐丸バス 新垣集落まで護佐丸バスがご利用できます。
中城村内循環バス ※平日のみ運行

時刻表



護佐丸バス



《問い合わせ先》

中城村観光協会
〒901-2406
沖縄県中頭郡中城村字当間140-5(中城村商工会館内)
TEL 098-975-5309
HP: <https://www.nakagusukukk.com/>

HP

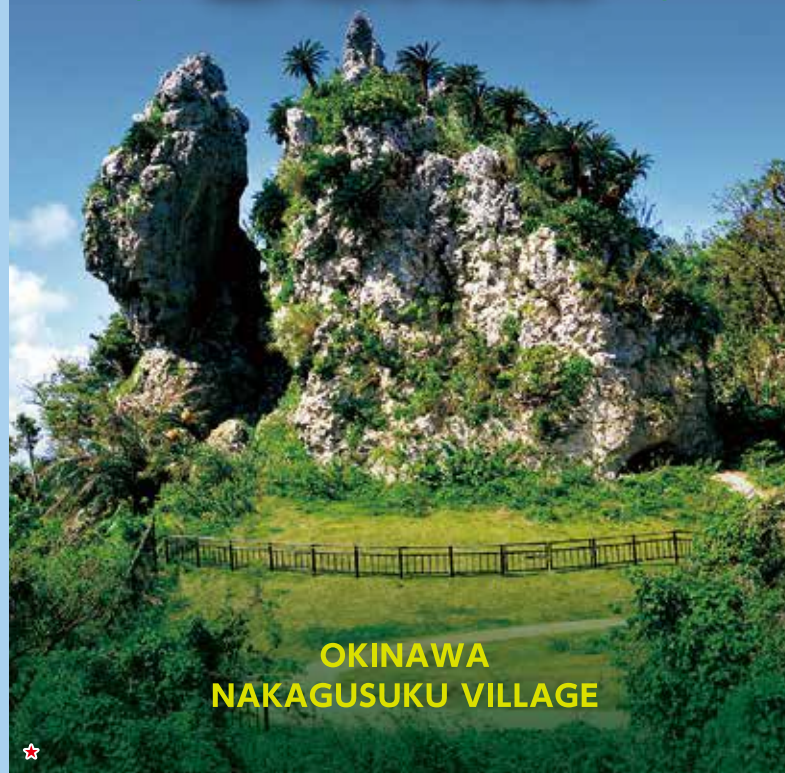


新垣区民館[新垣自治会]
〒901-2422 沖縄県中頭郡中城村字新垣129

2020年3月発行

新垣集落

散策MAP



OKINAWA
NAKAGUSUKU VILLAGE

新垣の綱引き



引き継がれる新垣のこころ

新垣の綱引きは、地域の安全を願う区民の手によって、昔から変わらず継承されている伝統行事です。
子供たちが各家庭からワラを集め、区民で綱を作ります。旧暦7月15日の日に、中道にて「新垣区綱曳き発祥の地碑(掲載マップ④)」を境に上組と下組にわかれて行われます。
当日は、灯される松明のもと、空手や棒術も披露され、ドラや鉦鼓、ボラの響き渡る音色とともに、区民や見物客の熱気の渦が立ち昇ります。

新垣集落の スポット



★印は、中城村教育委員会からの提供写真です。

新垣の石橋



村指定建造物

マップ①

村内で唯一の貴重な石橋



中城村で唯一残るアーチ形の石橋で、歴史の見地からも当時の石造技術を知るうえでも貴重な石橋です。

この石橋は若南川により分断された地域の不便さを解消しようと昭和17年頃、石工の伊佐山戸氏が徴兵で男性があまり残っていなかった中、老人や婦人とともに亀甲墓の技術を応用して造ったといわれています。

県道開削記念碑



村指定史跡

マップ③

県道開通に大きな喜び



かつて新垣は交通が不便で人々は大変困っていました。その状況に伊佐善則親子は道路開通を計画し奔走しましたが父親善則氏は実現の前に他界。息子善俊氏は父の夢を実現するため、校長を辞め県議会議員となり多難を乗り越え昭和7年に県道普天間与那原線の開通を実現させました。

碑は開通に尽力した親子の努力を讃え昭和9年に建立されました。

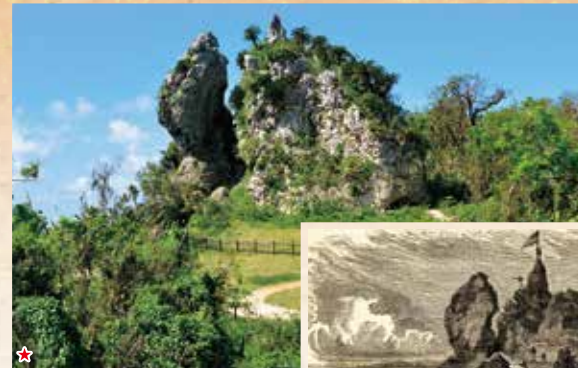
ペリーの旗立て岩



村指定史跡

マップ⑥

琉球王国時代末期の中城の風景とは



ハイネが残したスケッチ

1853年米国ペリー提督の艦隊が日本へ開国を求める航海の途中で琉球に寄港した際、沖縄島調査のため探検隊を編成し那覇から中北部まで足を運びました。

中城ハンタ道の途中でこの大岩を見つけた一行は岩山頂上に旗を立て祝砲を打ち鳴らし「旗岩(Banner Rock)」と名付けました。調査隊のハイネのスケッチが残されています。

新垣集落散策MAP



1 新垣の石橋 (村指定建造物)

沖縄戦以前の中城村の河川には、あちこちに石橋が見られたが現在はこの新垣の石橋が唯一残るアーチ形の石橋です。

2 若南ビラ(坂)の石畳

ハルミチ(畑道)として利用された道

戦前は坂道全体が石畳道で畑に行く人々が牛を連れてたりして利用していました。現在は新しい階段が整備されており、その南側に石畳の一部を残すのみとなっています。

5 ツンマース

新垣のロータリー

昔は大きな松がありその周囲を石積みで囲っていたことから「積みまわす」という意味の「ツンマース」と呼ばれていました。ここから道が3つに分岐しておりロータリー的な存在でした。

6 ペリーの旗立て岩 (村指定史跡)

地元では「ターチャーイン(二つ岩)」と呼ばれるこの岩は、米国ペリー艦隊の探検隊が立ち寄った場所として有名です。

3 県道開削記念碑 (村指定史跡)

車道がなく交通も不便で大変困っていた新垣区民。多難を乗り越え県道の開通に尽力した先人を讃え昭和9年に建立されました。

4 新垣区綱引き発祥の地碑

綱引きの拝所

旧盆の綱引き前に、綱引きが無事行われることを祈願する拝所です。中道のこの場所を境に上・下組に分かれて綱引きを行います。

とうぼう ひふみ

★★★★ 陶房 火風水 ★★★★★

中城の丘でご夫婦2人でうつわを作っています。島の自然の豊かさをうつわに表現しています。

〒901-2422 沖縄県中城村新垣 126
TEL 098-995-7331
E-mail: tobohifumi@gmail.com
営業時間 10時~17時
※不定休のため、事前にお電話いただいております。お越しくださいませ。



国指定史跡 新垣グスクと周辺文化財

新垣グスクと新垣上原遺跡は中城ハンタ道の一部として国指定史跡に指定されています。

A ミージャーガー

現在も枯れることのない井戸

豊かな水量と水質の良さから、新垣の人々の重要な生活用水として使用されたほか、集落の儀式などでも利用されていました。

B ウシノハナモーモー

牛の頭のような形をした鍾乳石。宜野湾市野高の「ノダケパンタ」とこの岩が喧嘩をし両方が吠えて共鳴したという言い伝えがあります。

C ニードックル 根所

新垣集落の始まり

新垣の創始者の屋敷があったと言われている場所です。現在は区長や集落の有志が各行事祈願のほかその年生まれた子供の報告をしています。

D 新垣上原遺跡 (根所から仲嶺前の石畳道)

沖縄の伝統的な古村落の形

13世紀~近代までの集落跡で、北側の山(新垣グスク)を集落の鎮守の杜とし、南側に集落が広がる沖縄の伝統的な集落形態が学べます。

E 新垣グスク (一曲輪と二曲輪の間の石積)

オモロにも詠われたグスク

14世紀に築かれたグスクです。勢力を強めた中城グスクの勢力下に取り込まれ廃城になったと考えられています。

F イリ 西ヌカー (西ノ井戸)

新垣グスクの殿曲輪内、内原ノ殿の祠の左側にある石積みで囲まれた井戸跡です。旧暦5月、6月のウマチーで拝まれています。

G アガリ 東ヌカー (東ノ井戸)

新垣グスクの内、内原ノ殿の北側約20mの位置にある石積みで丸く囲まれた井戸跡です。旧暦5月、6月のウマチーで拝まれています。

H ウチバラ トゥン 内原ノ殿

神聖な空間

祠内にはご神体として自然石が置かれています。グスク時代は新垣グスクの女性たちが住む空間でした。

★印は、中城村教育委員会からの提供写真です。